

日本決勝T進出



後半、先制ゴールを決め祝福される前田(手前右)
=25日、米ダラス(時事)

30日、ブラジルと対戦

F組2位 スウェーデンとドロー

【ダラス共同】サッカーのワールドカップ(W杯)北中米3カ国大会は25日、ダラス競技場で1次リーグF組最終戦が行われ、11日付の世界ランキング18位の日本は同38位のスウェーデンと1-1で引き分けて勝ち点5とし、同組2位で3大会連続の決勝トーナメント進出を決めた。スウェーデンとの対戦成績は1勝4分け1敗。

日本 1 (0-0) 1 スウェーデン

ベスト16入りを懸け、29日韓大会で初めて決勝トーナメントに進んだ日本は出場した8大会で5度目の進出となった。

F組のもう1試合は、オランダがチュニジアに3-1で勝って勝ち点7の首位。スウェーデンは同4で3位。チュニジアは同0で4位。
E組ではコートジボワールがキュラソーに2-0で勝って2位通過。エクアドルは既に通過を決めているドイツを破って同組3位で突破を決めた。D組ではパラグアイがオーストラリアと、米国がトルコと対戦する。

